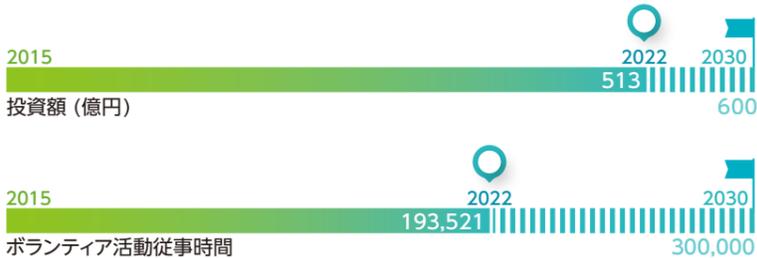
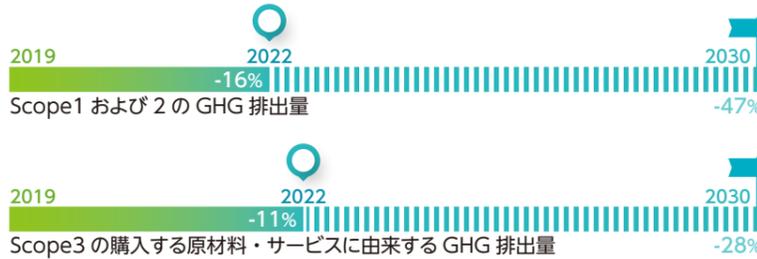


医薬事業におけるサステナビリティ

注力分野	目指す姿	中期取り組み目標 (KPI)	各目標に対する進捗	関連するSDGs
お客様の期待を上回る製品・サービスの提供	私たちは、世界に通用する画期的なオリジナル新薬を創出し、一日も早く患者様にお届けすることを目指します。	新薬創出への投資 重点領域における新薬の研究開発に継続的に投資します。	2022年11月、エナロイ®錠について導出先であるJW社にて韓国における製造販売承認を取得しました。また、コレクチム®軟膏0.25%及び0.5%の乳幼児患者対象の第Ⅲ相臨床試験が終了し、2023年1月に乳幼児への適応拡大のための添付文書改訂を完了しました。 2022年において、研究開発費として298億円を投じました。	
人財への投資	私たちは、FIC（ファースト・イン・クラス）創薬に貢献し得る人財の育成に努めます。	倫理意識の醸成 患者様を救うという使命感・倫理意識をもった人財を育成するために、社内啓発活動「患者様の事を徹底的に考える会」において、医療現場と交流し、患者様の医療ニーズを追求し続けます。	2022年において、「患者様の事を徹底的に考える会」にファシリテーターとして参加した社員11名が中心となり、医療従事者・ベンチャー企業へのインタビューや、社内のアトピー性皮膚炎経験者同士の座談会等を実施しました。	
		地域社会への貢献* 包摂的かつ持続可能な地域社会の発展を目指し2015年から2030年の間に、600億円の投資を行い、従業員が30万時間のボランティア活動に従事することを目指します。	2015年より、地域社会へ513億円を投資し、従業員は勤務時間内に193,521時間のボランティア活動に従事しました。	
製品の安全性と責任	私たちは、患者様に安全な薬をお届けするために、関連法規や業界基準を遵守して事業活動を行います。	責任ある販売情報提供活動 医療関係者の方々に、医薬品に関する最新かつ正確な情報をお伝えするためにMR（医薬情報担当者）への教育等を継続的に実施します。	在籍するMR全員に、毎月1回e-learningによる研修受講を必須としており、全員が受講しています。	
		温室効果ガス排出量* JTグループ環境計画2030におけるGHG排出量の削減に貢献します。（2030年までにScope1および2のGHG排出量を2019年比で47%削減、Scope3の購入する原材料・サービスに由来するGHG排出量を2019年比で28%削減）	2019年比でScope1&2のGHG排出量を16%削減、Scope3の購入する原材料・サービスに由来するGHG排出量を11%削減	

* 「地域社会への貢献」および「温室効果ガス排出量」における目標はグループ全体の目標